

—関連施設だより—

救命救急センターに求められる機能

今 明秀

八戸市立市民病院

Functions Required of Emergency and Critical Care Center

Akihide Konn

Hachinohe City Hospital

当院は本州最北の青森県の一番南に位置する人口22万人の八戸市にあります。病床数636床の総合医加算が可能な地域医療支援病院です。救命救急センター、周産期センター、脳卒中センター、臨床研修センターを併設しています。当院は市民の健康維持と回復を担いながら、併せて医療圏を超える青森県内の中心的病院として高度急性期医療を提供し、信頼されてきました。1日当たり外来患者数1,100人の診療に当たり、救命救急と地域災害医療センターとして重要な役割を發揮しています。

私は病院長として全職員一丸となって患者の要求に応えるべく、医療改善に取り組んでいます。院内においてはチーム医療体制を整備し、病院改革プランの諸課題解決に向けて奮闘しています。

●医療の質

患者の意見の収集と改善、各種満足度調査を適切に行っています。多職種参加の症例検討会やクリニカルカンファレンスは救命救急センターで極めて旺盛に開催され、診療内容によく反映されています。臨床指標の収集と活用さらに外傷、敗血症、熱中症、ドクターヘリなどの全国調査に参加し質の向上に努めています。センターからの病理解剖は年間20から40体あり死因究明に努めています。

●医療安全

安全確保のための院内のチーム活動は積極的に行われています。現救命救急センター所長は医療安全室長も兼務していて、センター内にはリスクマネージャーが配置され、リスク対策や研修会を開催しています。薬剤の安全な使用対策では、ハイリスク薬剤や麻薬の使用管理と記載基準などにセンター所属薬剤師が活躍しています。

●医療関連感染制御

院内専従ICNは定期的にセンターをラウンドしています。各種サーベイランスも積極的に実施し、VAPの発生状況の把握を目指しています。感染性廃棄物の取り扱いと抗菌薬の適正使用は院内の他の部署より優れています。

●地域医療支援病院として

地域の医療機関と密接な連携を図り、介護・福祉機関と紹介・逆紹介の手順を整備し、スムーズに患者受け入れを行っています。地域に向けた講演活動、健康教育等は15年間継続的に活発に取り組み、市民BLS講習会、災害多職種講習会は市民から好評です。救急医療に関して市役所の調査では市民の75%が満足しているという結果が出ています。

●チーム医療

センターと救命病棟の医師回診は毎日行われています。看護ケア計画も緻密に行われています。センター薬剤師による服薬指導がおこなわれ、転倒・転落の専門チームのラウンドも積極的に受けています。重症患者の栄養管理のため、管理栄養士が毎日回診に加わっています。リハビリテーションは担当医の指示のもと入院早期から開始し、リハビリ科とセンターのカンファレンスが週一回開催されています。敗血症や蘇生後で終末期の患者はカンファラ

連絡先：今 明秀 〒031-8555 青森県八戸市田向3-1-1 八戸市立市民病院 院長

URL：www.hospital.hachinohe.aomori.jp

E-mail：hotatel@nifty.com

Journal Website (https://www.nms.ac.jp/sh/jmanms/)

ンスで終末期と決定されたあとに、ガイドラインに沿った治療縮小を開始しています。終末期医療の症例登録は日本救急医学会では途中で打ち切られましたが、当センターでは継続登録しています。脳死臓器提供はこれまで6例経験しました。

●良質な医療を構成する機能

救急医療は救急科病床の他、実態的に救急対応する病床を合算すると、100床を超えて全病床の20%程度となります。救急専門医や専攻医、救急認定看護師が中心となり、病院内の他部署から依頼された患者は全数受け入れ、院内からは圧倒的な信頼を得ています。年間ドクターカー1,500件、ドクターヘリ500件と、全国有数の病院前出動数を誇ります。病院機能評価をこれまで5回受審しています。「救急医療機能を適切に発揮している」項目ではS評価を2回連続頂いています。S評価は日本医大と並ぶ最高評価です。

●医師確保

研修医を含んだ総医師は140名で、センター医師は20名です。センターから消化器内科と神経内科に一人ずつ医師を外向させています。救急科専門医は9名でそのうち外科専門医4名、脳外科専門医2名、麻酔標榜医が2名です。救急科専攻医は9名で日本医大と連携を組んでいます。脳梗塞血管内治療や、TAE、頭部、胸部、腹部手術、透析シャント手術、全身麻酔をセンターで完結できます。センター入院収入は一月2億円を超え院内診療科で最高診療報酬を常に稼いでいます。

●臨床研修、学生実習

私は臨床研修センター所長を兼務し、基幹型臨床研修病院として一学年19名を教育しています。シミュレーターなど研修環境の整備を図っています。研修医への臨床能力評価は、通信簿を作成し独自のフィードバック方法を編み出しました。医学生実習は全国から集まります。見学生も合わせて年間140名と多数受け入れています。

まとめ

私が一人救急医で当地に赴任して16年が経過しました。病院理念に「医療の原点は救急にあり」を謳う八戸市立市民病院では、救命救急センターが病院を牽引しています。救急科の医師、看護師は市民、職員から絶大なる信頼を得ています。病院前出動2,000件が物語る圧倒的な症例数だけでなく、医療の質、安全、地域医療支援、教育、経営のすべてに上質を達成できた成熟した救命救急センターに成長することができました。これまで応援していただいた日本医大に感謝申し上げます。

(受付：2020年9月17日)